

教良木地区農業体験拠点施設整備事業（教良木・内野河内SDGs推進協議会）

概要：都市部から上天草市への移住・定住などの人の流入は、地域の活性化には不可欠なものとするが、地方の田舎暮らしを実際に体験できる施設は、上天草市で限られており、メリット・デメリットを踏まえた移住等を検討する機会が少ないことが課題と捉えられる。そのため、空き家を改修し拠点を整備し、人と農、都市と地方をつなぐきっかけを生み出す場をつくる。

事業の内容

移住・定住のきっかけとなる田舎暮らし体験ができる施設の不足という課題に対し、教良木地区の空き家を改修し利活用の整備を行い地域住民と移住希望の人が交流し移住のきっかけ作りの場を作る。

総事業費

	予算額	実績額
消耗品費	615	613
使用料	25	25
委託料	102	96
備品購入費	258	269
支出計	1,000	1003
収入 まちづくり助成金	750	750
自己負担	250	253

ポイント

空き家を改修した施設で、上天草で移住体験をしてもらい、住む場所や働き方、農をしながらの暮らしについて考えることができる場を作る。

事業の成果：地域内外の交流拠点として、移住体験や農業体験などができる施設を整備することができた。

リノベーションした施設を活用し、農業体験やイベント等で今まで交流したことのなかった地域住民の方々や移住希望者との交流の場を設けることができ、地域の方々にも大変喜んでいただいている。

今後、施設を活用していくことで、さらなる交流関係の増加と・地域の活性化を図っていくこととしたい。

事業前



事業後



事業名：教良木地区農業体験拠点施設整備・人材育成事業（アドバイザー招へい等人材育成事業）  
 団体名：教良木・内野河内SDGs推進協議会

概要：都市部から上天草市への移住・定住などの人の流入は、地域の活性化には不可欠なものとするが、地方の田舎暮らしを実際に体験できる施設は、上天草市で限られており、メリット・デメリットを踏まえた移住等を検討する機会が少ないことが課題と捉えられる。そのため、空き家を改修・整備した施設を活用した今後の新規就農や移住・定住のための人材育成をおこなう。

事業の内容

DIYの講師を招き、地域やその他、空き家の改修に興味がある人を対象に人材育成を行う。

「たかやま未来センター さとのわ」、新潟駅構内「がんぎどおり」及び「きら星BASE」を視察し、収益の確保や施設管理等の課題解決方法を学ぶ。

総事業費

(単位：千円)

	予算額	実績額
報償費	96	99
旅費	105	98
消耗品費	49	54
支出計	250	251
収入 まちづくり助成金	250	250
自己負担	0	1

ポイント

実際に田舎暮らしや農業を、上天草で移住体験をしてもらい、今後の移住・定住のために、より具体的な提案につなげていくことが出来る人材を育成する。

事業の成果：視察で多くの知識を得ることができた。持続可能な運営につなげたい。DIY講師を招いて行った人材育成には、地域からも参加があり、構成員共に学ぶことができた。

リノベーションした施設を活用して地域内外の交流拠点として、移住体験や農業体験などを実施することができました。農業体験をきっかけで天草地域に移住された方もいらっしゃいました。希望の空き家が見つからず、天草市への移住となってしまったため、今後は地域の方々にも空き家問題への理解を深めていただく活動も行っていきたい。

【きら星視察】



【綿花の収穫体験】

